

<トピックス>

平成 24 年 10 月 29 日(月)

果樹コース県内研修開催

果樹コースを専攻する 1 年生と 2 年生は、有田地方に柑橘の勉強をしに行きました。

【JA ありだ AQ 中央選果場】



JA ありだ本所 南 営農指導課長と有田振興局の播磨主査から、有田地域における柑橘栽培の現状や、JA 有田の概況について説明を受けました。



つづいて、
選果場内へ。



手前が光センサー。ミカンの糖度と酸度を非破壊で計測します。

奥がカラーグレーダー。ミカンの品質（大きさや傷）を見分けます。



大きさ、等級別に仕分けされたミカンは箱に詰められ出荷されます。

最先端の技術が導入され、昔の選果場に比べて作業員の人数がかなり少なくなっています。

【株式会社 早和果樹園】



最先端技術である ICT や 6 次産業化にとりくむ早和果樹園の秋竹社長に説明を受けました。

選果場近くのは場でいただいた田口早生はまだ収穫時期には早かったので酸味が強かったのですが、かなり甘くて美味しかったです。



この畑では、マルチドリップ栽培に取り組むとともに、1 本 1 本にラベルをつけ、メーカーと共同で ICT を活用した栽培管理に取り組んでいます。

さらに美味しいミカンができることを願っています。



ここでは、ミカンを利用したジュースやポン酢などの加工品も作っています。青果物だけでなく、加工品をすることで、年中収入が得られるのは魅力です。

【キウイフルーツ園】



海南市下津のキウイフルーツ園を見学しました。
70a ものまとまった面積で栽培される、キウイの棚栽培は圧巻です。



JA ながみねで働く和農大の先輩方（左の女性2人）も説明に来てくれました。



園主さんは 30 年前に園地を整備し、栽培を始めたそうです。
園内は緩やかな傾斜があり、周囲を車で廻れるようになっていて、作業しやすくされていました。